

<p><b>目標</b></p> <p>○省資源・省エネルギー対策を始め、地球環境の保全につながる取組を推進し、環境への負荷の少ない、資源循環を基調とした社会を形成します。</p> <p>○生活環境を保全するため、公害防止対策や環境美化対策を推進します。</p> <p>環境の保全についての学習・啓発を進めます。</p>		<p><b>施策の方向</b></p> <p>1 環境への負荷の低減</p> <p>2 資源循環型社会の形成</p> <p>3 環境保全思想の普及と啓発</p>
--	--	--

各施策の基本計画（平成10～19年度）の目標達成状況

1 環境への負荷の低減

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況
環境基準の達成度（％）	（平成10年度） 0％	（平成19年度） →	（平成19年度） 100％	全測定局でNOx、SPMとも環境基準を達成しました。
公害の苦情処理に係る相談者の満足度（％）	（平成10年度） 64％	（平成19年度） 80％	（平成19年度） 60％	目標の達成率は75%でした。

指標名の定義： 環境測定局（15年度までに4局、16年度から3局）におけるNOx、SPMの環境基準の達成割合

公害の苦情処理相談に満足した人 / 相談者数

2 資源循環型社会の形成

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況
資源化率（％）	（平成10年度） 7.9％	（平成19年度） 20.0％	（平成19年度） 18.7％	目標を93.5%達成しました。

指標名の定義：資源回収量 / （行政が収集するごみ + 資源回収量）

3 環境保全思想の普及と啓発

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況
区民の環境配慮行動の割合（％）	（平成12年度） 84％	（平成19年度） →	（平成19年度） 91％	12年度より7%上昇しました。

指標名の定義：日頃から省資源、省エネルギーなど地球環境に配慮した生活や行動を心がける人の割合（12年度は区民意識調査・19年度は区政モニターアンケートによる集計結果）

<p>これまでの主な取り組み</p>	<p>1 環境への負荷の低減</p> <p>区内の大気汚染等の状況の把握とともに、公害の規制・指導による汚染物質の排出低減を図ってきました。また、地球温暖化防止のために、区民や事業者（特に中小事業者）の省エネ行動を広く支援・促進し、二酸化炭素排出量の削減を目指しています。</p> <p>2 資源循環型社会の形成</p> <p>12年度に都から清掃事業が移管され、区は積極的にごみ発生抑制や正しい分別によるごみ減量を図りました。資源回収品目・規模の拡大、不用品の再利用事業、各種普及啓発等により、区収集ごみ量は約13万 約9万トンに、資源化率も7.9 18.7%に向上しました。</p> <p>3 環境保全思想の普及と啓発</p> <p>環境学習情報センターを活用して適切な情報提供、環境に関連するイベントなどを行い、環境問題への関心・理解を深め、環境に配慮した生活や行動ができるように普及・啓発を図ってきました。エコリーダー養成講座の受講者数が延べ1,000名を超えました。</p>
--------------------	--

<p>評価</p>	<p>1 環境への負荷の低減</p> <p>地道な測定とデータの蓄積及び公表が区民の環境問題への意識啓発につながっています。大気中のダイオキシンや浮遊粒子物質が基準内になるなど、環境への負荷も低減しています。環境学習情報センターを核として区民・事業者等との協働により、家庭・事業所における省エネの取組みを支援・促進し、環境への負荷の少ない社会を目指して、地域における取組みが着実に広まっています。</p> <p>2 資源循環型社会の形成</p> <p>循環型社会形成に向けた普及啓発や資源回収の推進等の取り組みは着実に展開することができた」と評価しています。</p> <p>3 環境保全思想の普及と啓発</p> <p>各種イベントの開催や講座の実施等、区民・地域団体・NPO・企業・学校等の地道な連携と協働により、環境への理解や関心を深めるのに大きな成果を上げています。</p> <p>この項目は、新宿区総合計画の「 - 1 環境への負荷を少なくし、未来の環境を創るまち」に引き継いで取り組んでいきます。</p>
-----------	--

施策の方向の目標達成状況

1 環境への負荷の軽減 (182ページ)

指標名		定義		目標水準		
公害の苦情処理に係る相談者の満足度		年間の苦情処理件数のうち、区の処理に対して「満足」又は「一応満足」と感じた件数の割合。		(平成24年度)	年度に(80%)の水準達成	
環境基準の達成度		環境測定局(19年度2局)におけるNOx、SPMの環境基準の達成割合。		(平成19年度)	年度に(100%)の水準達成	
施策の達成状況						
		単 位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
施策 成果 指標	目標値1	%	80.00	80.00	80.00	平成19年度の苦情処理件数 全116件「満足」及び「一応満足」とした件数 70件
	実績1	%	56.80	52.90	60.34	
	目標達成率1 = /	%	71.00	66.13	75.43	
	目標値2	%	100.00	100.00	100.00	
	実績2	%	100.00	100.00	100.00	
	目標達成率2 = /	%	100.00	100.00	100.00	

2 資源循環型社会の形成 (184ページ)

指標名		定義		目標水準		
資源化率(%)		資源回収量 / (行政が収集するごみ+資源回収量)		(平成19年度)	年度に(20%)の水準達成	
集団回収への参加率(%)		資源集団回収参加世帯数 / 区内世帯数		(平成19年度)	年度に(60%)の水準達成	
施策の達成状況						
		単 位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
施策 成果 指標	目標値1	%	20.00	20.00	20.00	
	実績1	%	17.40	18.30	18.70	
	目標達成率1 = /	%	87.00	91.50	93.50	
	目標値2	%	55.00	58.00	60.00	
	実績2	%	49.00	48.70	49.10	
	目標達成率2 = /	%	89.09	83.97	81.83	

3 環境保全思想の普及と啓発 (186ページ)

指標名		定義		目標水準		
「エコリーダー養成講座」の参加者数		地域の環境活動リーダーを養成することを目的とした連続講座の参加者数です。		(平成19年)	年度に(300人)の水準達成	
施策の達成状況						
		単 位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
施策 成果 指標	目標値	人	300.00	300.00	300.00	
	実績	人	340.00	150.00	474.00	
	目標達成率 = /	%	113.33	50.00	158.00	